

作成日

令和5年10月1日

短期留学留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

○基本情報

氏名		所属 (令和4年度)	文 学 部	外国語文化	学科	1 年
学籍番号		留学期間	令和 5 年 8 月	～	令和 5 年 9 月	
留学先 国・地域	オーストラリア、メルボルン	留学先(学校)	Royal Malborne Institute of Technology			

○報告内容

1. 留学前準備について(留学に参加した理由、留学の目的・目標 等) ※300字程度以上が目安
<p>私が今回このオーストラリアへの留学に参加した理由は大きく二つあります。</p> <p>まず一つ目に、実際に海外で過ごすことで現地の生活を知り、生きた英語を学びたいと考えたからです。この留学プログラムではホームステイであったため、日常生活のすべてを英語で話すことになり、より身近で使用頻度の高い英語を身につけたり、コミュニケーション能力を養ったりすることができると思いました。また、教科書の例文や、リーディングで見て覚えた英文ではなく、その場で会話を交わすことで英語でも自分の考えを伝えることができるようになりたいと思いました。</p> <p>二つ目に高校時代にコロナウイルスの影響で閉鎖的な空間、考えの中で過ごしていたため、海外で生活することで新たな考え方や価値観、文化に触れることで視野を広げ、オープンなマインドを持ちたいと考えたからです。日本人と違って固定概念に囚われず、様々なことに積極的な海外の人々と関わることで、柔軟な考え方を持つことができ、将来自分が何を学びどのような社会人になりたいのかを考える上でとても良い経験になると考えたからです。</p>
2. 留学中に心がけたこと、努力したこと(授業、日常生活、留学中の活動 等) ※300字程度以上が目安
<p>留学中に私が心掛けていたことは、同じクラスの他国籍の友達に積極的に話しかけるようにしていました。それに加え、家に引きこもらずできるだけ外出し、現地の人々と関わるようにしていました。実際、中国人の友達にウェルカムパーティーの時に話しかけたことがきっかけで、メルボルンの街を案内してもらったり、何度か遊びに行ったりしました。留学の最終日が私の誕生日だったのですが、日本人の友達が帰国準備で忙しかったためお祝いしてくれ、少し遠い海に連れて行ってくれました。マーケットでご馳走もしてくれプレゼントまで用意してくれました。今でも連絡をくれるほど仲の良い大切な友達ができました。彼女と互いの国についてのことやメルボルンでの生活など様々なことを話すうちに自然と語学力も身につけることができました。</p> <p>また、積極的に外出し、行ける限りメルボルンの様々なお店や観光地に行ったり、試合観戦に行ったりしました。お店の方と英語で会話したり、現地のスポーツを楽しんだりすることで生きた英語や異文化経験につながりました。</p>
3. 留学の成果について(留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと 等) ※300字程度以上が目安
<p>今回の留学で自発的で積極的な性格に変わることができたと思います。日本特有の“察する”文化がない海外では自分から積極的に発言しなければ伝わりません。また、授業で個人、グループでのプレゼンテーションやフィールドワーク、ペアワークが多かったこともあり、そのため自ら自分のことを伝えたり相手に質問したりするうちに、自然と友達も増え、仲を深めることができました。</p> <p>個人的に大きな成長になったと実感するのが店員との会話です。留学してすぐの頃は聞き取れず緊張していたのですが、最後の方は一人で買い物に行き店員さんと簡単な会話ができる程度には成長しました。帰国後、バイト先のカフェで外国人のお客さんと英語で会話ができ、留学前よりもスムーズに接客ができ嬉しかったです。留学中は楽しいことばかりではなく、風邪をひいてマスクをして街を歩いていたときに現地の高校生たちに”Chinese”と笑われ馬鹿にされたことがありました。日本ではあまり身近に感じなかった人種差別を受けたショックと、マスク＝コロナ＝中国人という偏った考え方の人が本当にいたことにも衝撃を受けました。人種差別は絶対にあってはならないと改めて強く感じました。私は高校3年間をマスクで過ごしていたため、日本ではマスクをつけることに違和感も抵抗もなく、むしろ付けてない方が非難的な視線を向けられていた時期もあった中で、オーストラリア人のマスクをつけず気にしない姿勢には特に大きな文化や考え方の違いを感じました。</p>

留学先国・地域	オーストラリア、メルボルン	留学先(学校)	Royal Malborne Institute of Technology
4. 留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか ※300字程度以上が目安			
<p>今回の留学を経て、自分から行動することの大切さを学びました。私は高校時代をコロナ禍で過ごし、お互いの顔をよく知らないまま相手の顔色ばかり伺うようになってしまっていました。しかし、今回の留学で積極的に自分から友達を誘って観光したり、他国籍のクラスメイトに話しかけたりしていくうちに主体的な性格に変わることができたと思います。今後、語学力を今よりつけてまた留学に行き、今回よりもっと現地の人たちと関わり、よりナチュラルに会話ができるようになりたいです。また、留学前は外国人と会話したり、バイト先で接客したりする時にどうしても尻込みしてしまっていたのですが、無理に正しい文章で話そうとすることに専念するのではなく、伝えたいことを堂々と言うことが肝心であると気づくことができました。恥ずかしがったりすることなく、自分をさらけ出していくスタイルのオーストラリアの人からはたくさんの刺激を受け、自分の目指すもの、やりたいことを曲げずに何事にも積極的に取り組んでいきたいと思えます。</p>			

5. 留学中の画像(お気に入りのスナップ) ※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、挿入する画像を選択・挿入してください。1枚以上	
	
<p>写真の説明①: ウィンターナイトマーケットでの集合写真です。6~8月の冬の期間にだけ開催されるマーケットにみんなで行き、より一層仲良くなることができました。様々な屋台が出ていて、パエリアや串肉(鳥、豚、羊)、ハンバーガー、チョコレートフォンデュなどたくさん買ってみんなでシェアして食べたのは忘れられない思い出です。</p>	<p>写真の説明②: メルボルンで知り合った中国人の友達と一緒に火鍋を食べて遊園地に行った後、Point Ormondという夕日が綺麗に見えるスポットに連れていってもらいました。サプライズで友達の誕生日を祝ったときに周りの人も一緒に祝いしてくれ、とても充実した一日でした。</p>
	
<p>写真の説明③: NRL(ラグビー)をみんなで見に行った時の写真です。シドニー対メルボルンで白熱した戦いでした。皆でお揃いのメルボルンSTORMグッズを買って応援しました。勝ってよかったです!</p>	<p>写真の説明④: Puffing Billyでの写真です。足を投げ出して乗る汽車は自然を堪能できました。日本では見ることのできない広大な景色に感動し、心がリフレッシュされました。</p>

6. 外国語での記述欄(留学先国・地域の言語で、留学中の生活、成果等について、自由にご記入ください。) ※英語150 words以上が目安
<p>I stayed Australia for 5 weeks and made a lot of memories, but not all memories were good. My host family is Vietnamese and sometimes I confused difference from Japan to their life. Food doesn't suit me, and the most surprising thing was eating carp and goat. We hardly ate dinner together and never hang out. I noticed that they have their life and I'm not guest. I learned that it is important to act on myself, rather than expecting others to change. The best memory in Melbourne is my friends celebrated my birthday. My birthday was last day in Melbourne and most study abroad members were busy. In such a situation, friends who is same class from China, Indonesia and one of Kokugakuin University's friend took me to the beach and gave me a present to celebrate. I was very moved. I made some irreplaceable friends because I came to study abroad. I think the experience of helping each other and cooperating with international students will be helpful when I start work in the future. I got the strength to overcome anything.</p>